

内科専門研修プログラム

サブスペシャリティ重点コース / 呼吸器内科コース

(1) コースの全体像

大阪大学医学部附属病院 呼吸器内科は大阪府下、阪神間を中心に豊富なネットワークを持っている。そのネットワークのなかで若手を育て、大きくはばたく人材を育成している。

現在大阪府の内科専攻医数は上限が設定されている。現状では臨床研修病院（初期研修）から内科専門研修病院へ持ち上がることも多い。また、次頁の図2に示すように内科専門研修と呼吸器専門研修は連動も可能である（連動研修）。キャリアパスは複雑化しているため、**呼吸器内科が進路候補の一つである場合は、学生・初期研修医いずれの段階でもより早期に当科への問合せを推奨している。**

（問い合わせ先：welcome@imed3.med.osaka-u.ac.jp）

専門研修後は大学院に進学したり、博士号取得後海外留学したり、阪大等の大学教員として研究・教育等に従事する者もいる。大学院進学せずに、呼吸器専門施設の上級医師として先進的な医療や臨床研究等に従事する者もいる。

大阪大学大学院医学系研究科
呼吸器・免疫内科学

RECRUITING SITE

私達と一緒に 未来の医療の夢を見ましょう

welcome@imed3.med.osaka-u.ac.jp

合同研修説明会 2024.6.1 (土)
申し込み

病院見学は 金曜日（呼吸器内科） / 水曜日（免疫内科）を推奨しています！

- ✓ 教授面談
- ✓ 診療科長面談
- ✓ 病棟カンファレンスへの参加
- ✓ 病院見学、医局紹介
- ✓ 若手医局員と懇談

を半日かけて予定します。
* 別曜日や簡略化した訪問も相談受け付けます。

呼吸器・免疫内科学 公式WEBサイト
welcome@imed3.med.osaka-u.ac.jp

見学希望は当科
リクルートサイト
ご参照下さい

国内有数の呼吸器専門病院が結集

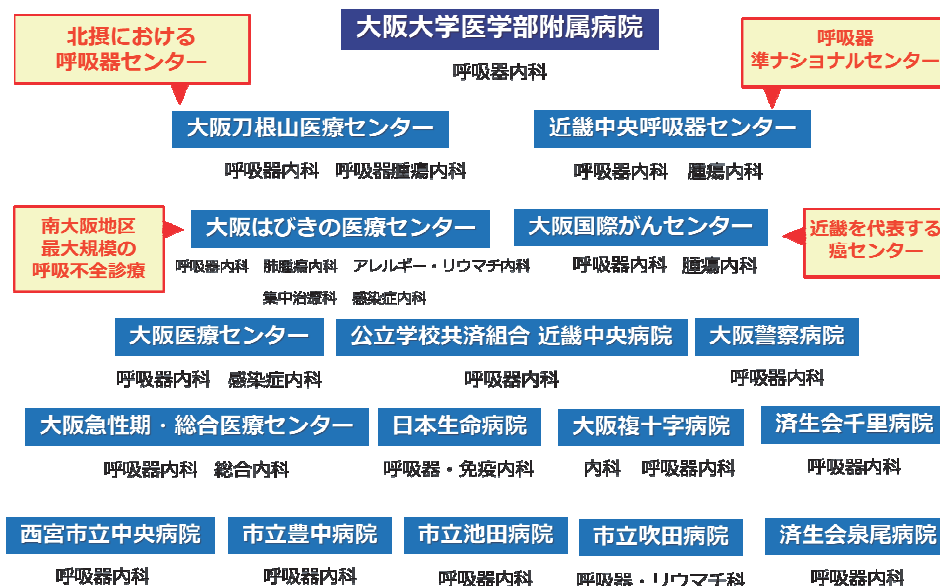


図1 阪大呼吸器内科の関連病院群

(2) コースの概要

コース名：呼吸器内科コース

本コースは呼吸器専門医、肺がん診療の専門医、気管支鏡専門医を養成することを目指すコースである。一方、呼吸器診療は「胸部レントゲンの読影」や「呼吸不全の一般的対応」など全ての若手医師にとって必須の能力でもある。まずは、初期研修医や内科専攻医として各病院の呼吸器内科をローテーションしてほしい。そこで少しでも呼吸器診療に興味があれば、是非とも呼吸器専門医を目指して欲しい。

呼吸器内科をすすめる10の理由

病院で一番輝いているのは呼吸器内科医だ

免疫内科をすすめる10の理由

免疫内科を選ぶと幸せになれる？

日本呼吸器学会より

"GeneralからSpecialtyまで"
急性期医療から在宅医療まで幅広くカバーする

日本リウマチ学会より

エキサイティングな「体験」を
我々と共有してみませんか？

日本アレルギー学会より

国民の半数以上が悩むアレルギーを
全人的に診療できる医師を目指して

先輩医師の声

大学院生の声

新専門医制度世代の声

呼吸器内科

免疫内科

女性医師の声

呼吸器内科

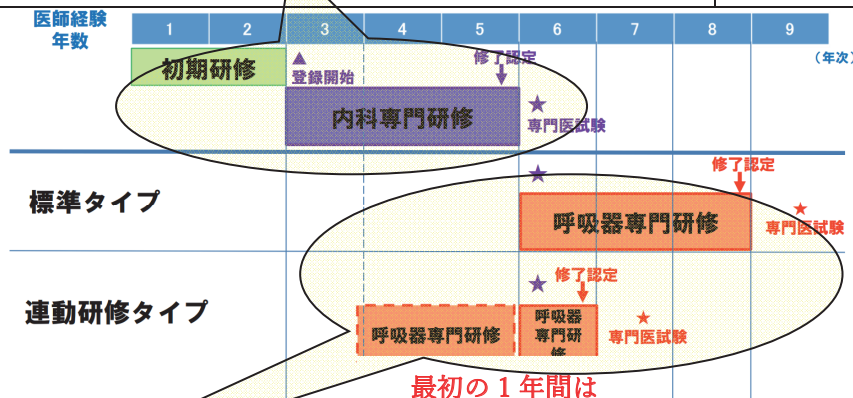
免疫内科

当科 HP ご参照下さい



コース名：呼吸器内科コース	医療機関名	受入人数
(当科関連の内科専門プログラム[基幹及び連携]) (卒後3-5年目)	大阪大学医学部附属病院 済生会千里病院、市立吹田市民病院、大阪警察病院、第二警察病院、日本生命病院、大阪急性期・総合医療センター、済生会泉尾病院、箕面市立病院、市立池田病院、市立豊中病院、国立病院機構大阪医療センター、国立病院機構大阪南医療センター、公立学校共済組合近畿中央病院、西宮市立中央病院 大阪国際がんセンター、大阪刀根山医療センター、大阪はびきの医療センター、大阪複十字病院、近畿中央呼吸器センター	1~2名/施設 (変動)

図2 卒後研修制度



医療機関名	内科専門研修に専念	受入人数
呼吸器専門プログラム（卒後4－8年目） 【基幹施設】大阪大学医学部附属病院 【連携施設】 市立豊中病院、大阪警察病院、大阪はびきの医療センター、西宮市立中央病院、公立学校共済組合近畿中央病院、市立吹田市民病院、済生会千里病院、大阪急性期・総合医療センター、日本生命病院、大阪国際がんセンター、大阪南医療センター、大阪複十字病院、済生会泉尾病院、りんくう総合医療センター 【阪大呼吸器内科が連携しているその他の基幹施設】 大阪急性期・総合医療センター、大阪はびきの医療センター、大阪警察病院、近畿中央呼吸器センター、大阪刀根山医療センター、日本生命病院、北野病院、日本赤十字社医療センター(東京)		約10名/年

(3) コースの実績

2024 年度開始内科専攻医（呼吸器内科サブスペ）は 9 名、2023 年度は 7 名、2022 年度 3 名、2021 年度 11 名、2020 年度 15 名で、直近 5 年で 45 名がコース登録した。コース終了後の進路は大学院進学、阪大関連の呼吸器学会基幹施設や連携施設での勤務、一般病院で勤務、阪大やその他大学教員等、全国で多彩な活躍をしている。

(4) コースの指導状況

一般関連病院は大阪大学の関連病院として臨床研修、教育スタッフの充実した総合病院である。当科関連病院は大阪府という都市部に位置し、症例数も多い。呼吸器専門病院は全国的にも屈指の病院群であり、肺癌、間質性肺炎、呼吸不全、抗酸菌感染症等豊富な患者数と医師数を擁し、専門スタッフが高度な診療技術と臨床研究の指導を行っている。また、大阪大学医学部附属病院呼吸器内科では基礎・臨床研究・トランスレーショナル研究や先進的医療に関与できる。呼吸器専門研修期間内に大阪大学大学院 呼吸器・免疫内科学講座に進学することも可能である。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本呼吸器学会
資格名	呼吸器専門医
【学会の連携等の概要】 2024年4月現在の呼吸器専門プログラム基幹施設 大阪大学医学部附属病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪はびきの医療センター、大阪警察病院、近畿中央呼吸器センター、大阪刀根山医療センター、日本生命病院	

学会等名	日本呼吸器内視鏡学会
資格名	気管支鏡専門医
【学会の連携等の概要】 2024年 1 月現在の認定施設、関連認定施設 大阪大学医学部附属病院、大阪医療センター、大阪国際がんセンター、大阪警察病院、日本生命病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪刀根山医療センター、市立豊中病院、市立吹田市民病院、市立池田病院、大阪はびきの医療センター、近畿中央呼吸器センター、西宮市立中央病院	

学会等名	日本臨床腫瘍学会
資格名	がん薬物療法専門医（今後腫瘍内科専門医に移行予定）
【学会の連携等の概要】 2020年 4 月現在の認定研修施設（基幹施設、連携施設） （基幹）大阪大学医学部附属病院、大阪国際がんセンター （連携）大阪刀根山医療センター、近畿中央呼吸器センター、市立吹田市民病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪医療センター、大阪警察病院、市立豊中病院、市立池田病院、大阪はびきの医療センター	



大阪大学医学部附属病院 呼吸器内科 集合写真

問い合わせ先

■ 大阪大学医学部附属病院 呼吸器内科

担当者 平田 陽彦

✉ welcome@imed3.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <http://www.imed3.med.osaka-u.ac.jp/recruiting/index.html>